



共栄セキュリティーサービス

道都警備

日本セキュリティーサービス

ダイトーセキュリティー

合建警備保障

東神産業

セキュリテイ

セキュリテイ・ライセンス・KOB

2024年3月期 第2四半期 投資家向け説明会資料

2023年11月27日

共栄セキュリティーサービス株式会社（証券コード：7058）

- 1. 2024年3月期 2Q 業績ハイライト**
- 2. 2024年3月期 2Q 連結業績**
- 3. 成長戦略**
- 4. Appendix**

1. 2024年3月期 2Q 業績ハイライト

2. 2024年3月期 2Q 連結業績

3. 成長戦略

4. Appendix

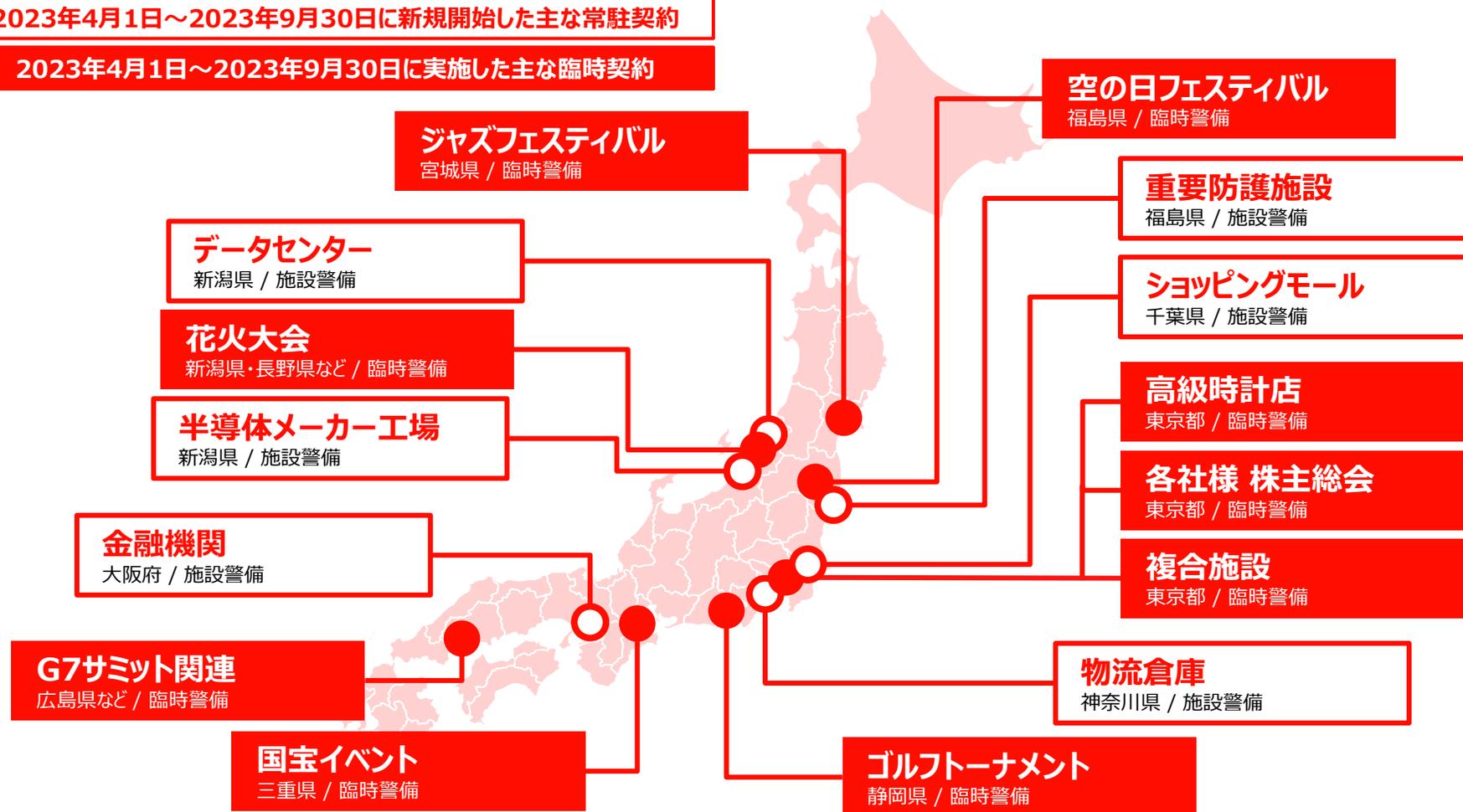
2024年3月期 2Q 業績ハイライト

2024年3月期第2四半期（前年同月比）売上高 407百万円（10%）増収

- **合建警備保障** / 徳島県 及び **ダイトーセキュリティー** / 東京都 の買収が上乘せ
- 新型コロナ関連の臨時警備が剥落するも、施設警備等の新規開始による積み上げ等が寄与

2023年4月1日～2023年9月30日に新規開始した主な常駐契約

2023年4月1日～2023年9月30日に実施した主な臨時契約



1. 2024年3月期 2Q 業績ハイライト

2. 2024年3月期 2Q 連結業績

3. 成長戦略

4. Appendix

2024年3月期 2Q 連結業績

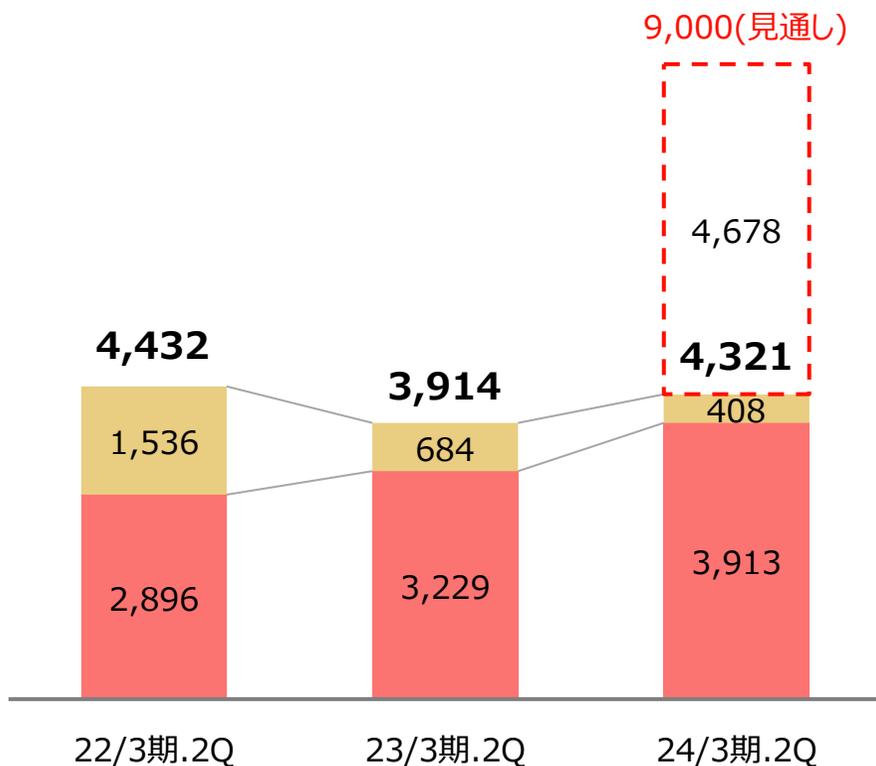
(百万円)

	2023/3期.2Q	2024/3期.2Q	前年同期比	2024/3期見通し (進捗率)
売上高	3,914	4,321	+407 (+10%)	9,000 (48%)
売上総利益	964	961	△2 (△0.3%)	
売上総利益率	24.6%	22.2%		
営業利益	321	186	△135 (△42%)	626 (30%)
営業利益率	8.2%	4.3%		7.0%
経常利益	340	228	△111 (△33%)	644 (36%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	269	144	△125 (△46%)	482 (30%)
1株当たり四半期純利益	185.91円	99.52円	△86.39円	332.92円
				1株当たり配当金 (予想)
				期末 90円

2024年3月期 2Q 売上高

(百万円)

■ 常駐契約 ■ 臨時契約



*常駐契約 – 契約期間1年以上

*臨時契約 – 契約期間1年未満

2024年3月期第2四半期 (前年同月比) 売上高 407百万円 (10%) 増収

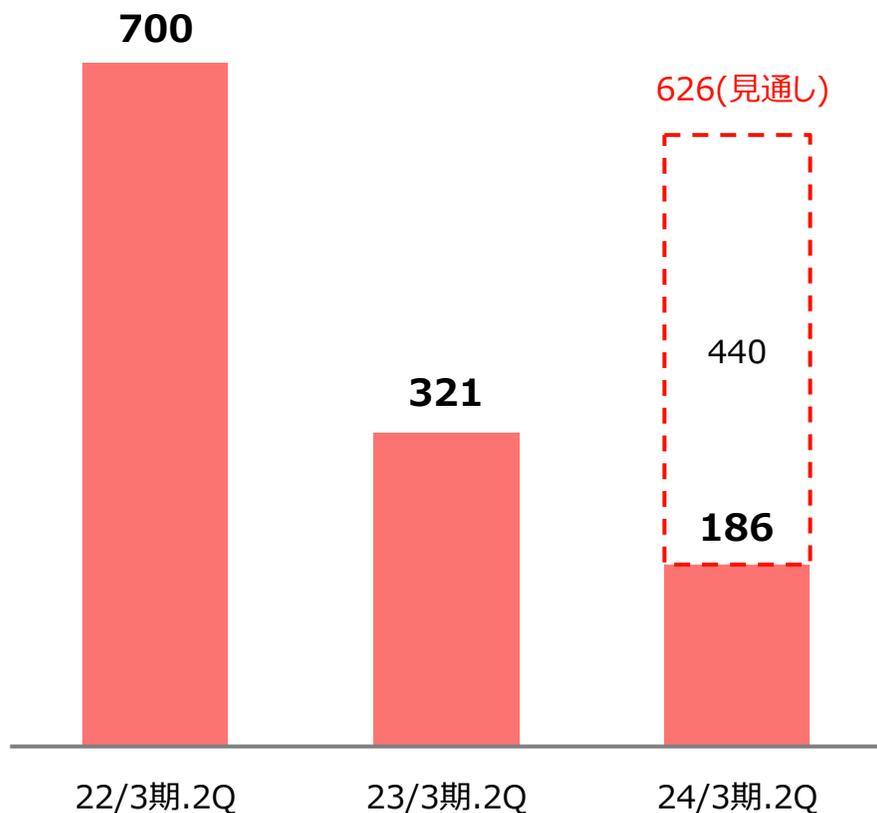
- 常駐契約 683百万円 (21%) 増収
(主な増加要因)
 - ・ 買収2社が業績に寄与
 - (株)ダイトーセキュリティー : 5ヶ月分
 - 合建警備保障(株) : 6ヶ月分
 - ・ 施設警備の新規開始
 - ・ 常駐契約の年平均成長率 (3年) は16%
- 臨時契約 276百万円 (40%) 減収
(主な減少要因)
 - ・ 新型コロナ関連の臨時警備の剥落
*22/3期.2Qはオリパラ特需を含む

(主な増加要因)

 - ・ G7サミットや複合施設の開業にともなう臨時警備
- 2024年3月期見通し
 - ・ 進捗率48%
 - ・ 2023年10月の買収2社が業績に寄与する見通し
 - 東神産業(株) (22/9期売上高630百万円)
 - (株)セキュリティ (22/8期売上高582百万円)

2024年3月期 2Q 営業利益

(百万円)



2024年3月期第2四半期 (前年同月比) 営業利益 135百万円 (42%) 減益

■ 営業利益

(主な減少要因)

- 賃上げによる影響
- 新型コロナ関連の臨時警備が剥落した影響
- 採用強化にともなう募集費の増加
- 買収にともなう、のれん償却費の増加
- 基幹システム導入にともなう関連費用の増加
*22/3期.2Qはオリパラ特需を含む

(主な増加要因)

- 買収2社が業績に寄与
 - (株)ダイソーセキュリティー：5ヶ月分
 - 合建警備保障(株)：6ヶ月分
- 施設警備の新規開始

■ 2024年3月期見通し

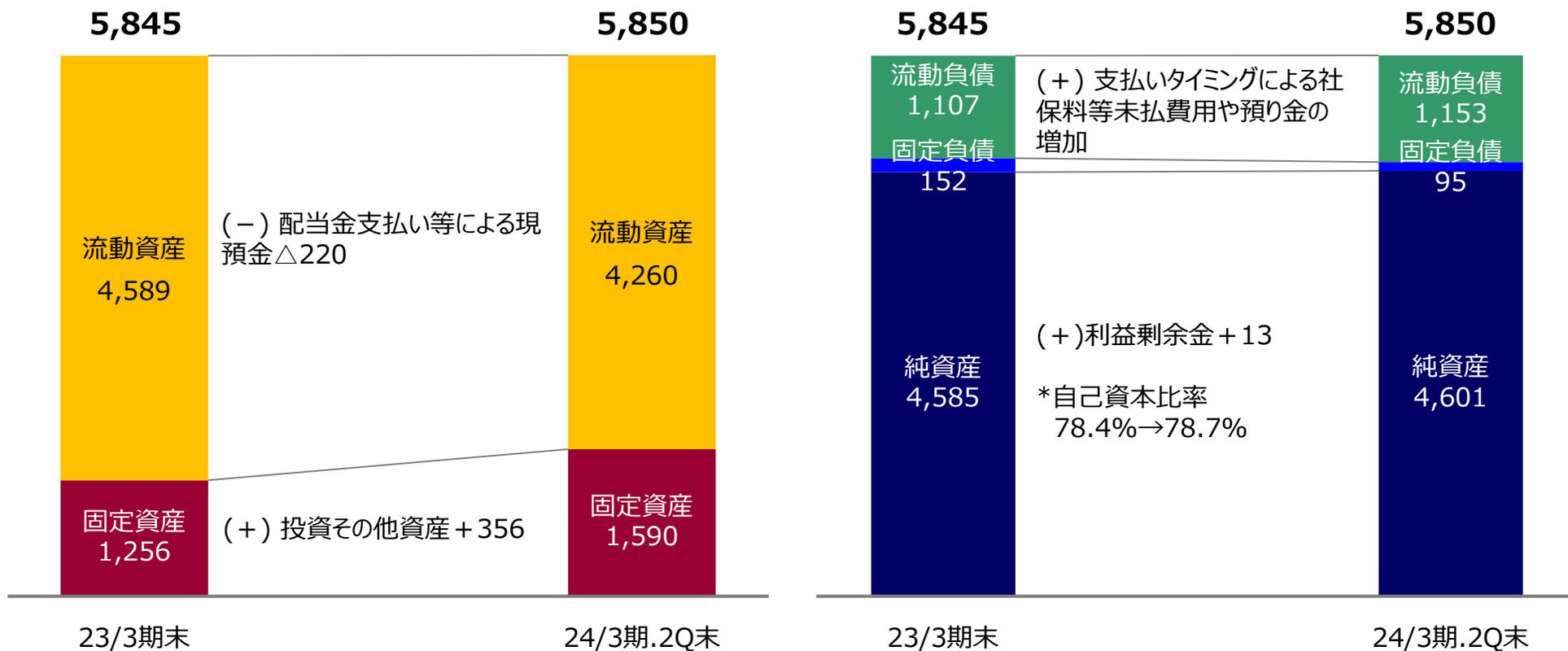
- 進捗率30%
 - 2023年10月に買収2社が業績に寄与する見通し
 - 東神産業(株) (22/9期営業利益▲4百万円)
 - (株)セキュリティー (22/8期営業利益21百万円)
- *一方でのれん償却が発生する見通し

2024年3月期 2Q 財政状態

(百万円)

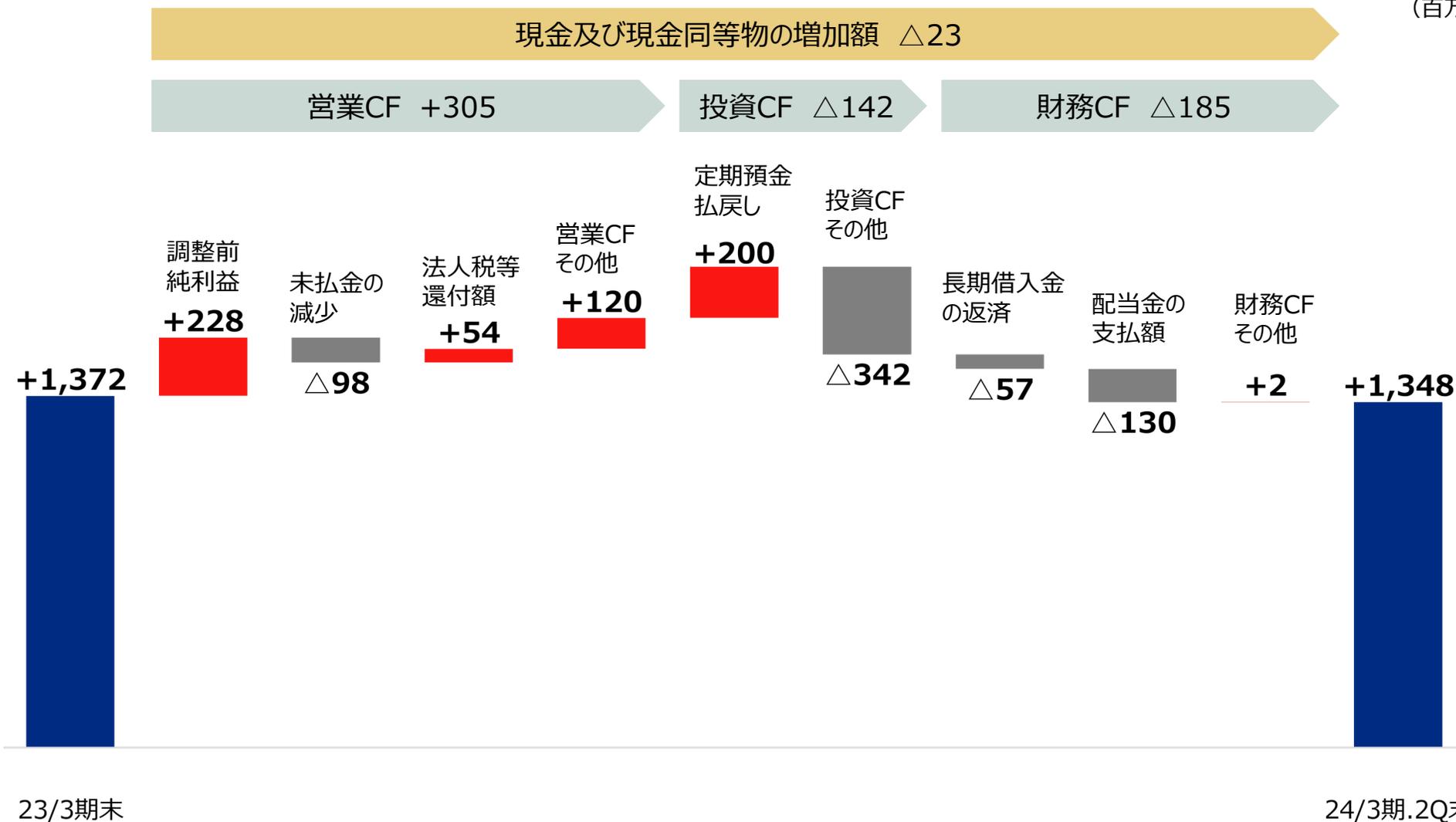
資産の部

負債・純資産の部



2024年3月期 2Q キャッシュ・フロー

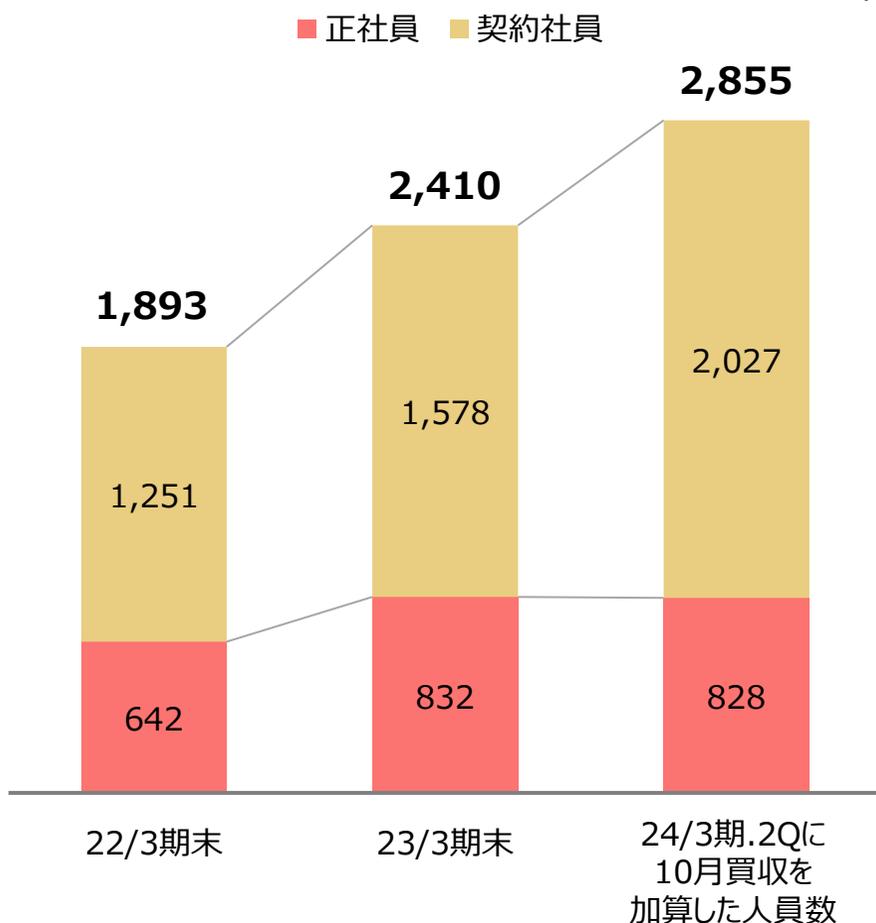
(百万円)



(ご参考) BS現預金 : 3,178百万円

2024年3月期 2Q 連結人員数

(名)



*人員数は就業人員数です

2024年3月期第2四半期に
10月買収を加算した人員数（前期末比）
連結人員数 445名（18%）増加

- 正社員
（主な減少要因）
 - ・ 退職による自然減
 （主な増加要因）
 - ・ 厳しい採用環境下で、新卒40名入社
- 契約社員
（主な増加要因）
 - ・ 中小規模の警備会社において人手不足による経営悪化の懸念があるなか、M&Aにより人員確保に成功

有効求人倍率の推移



1. 2024年3月期 2Q 業績ハイライト

2. 2024年3月期 2Q 連結業績

3. 成長戦略

4. Appendix

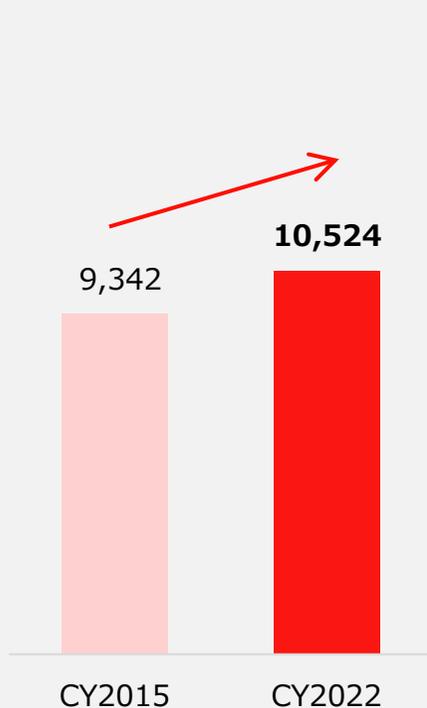
警備業界の現状

警備業者数は増加を続けている

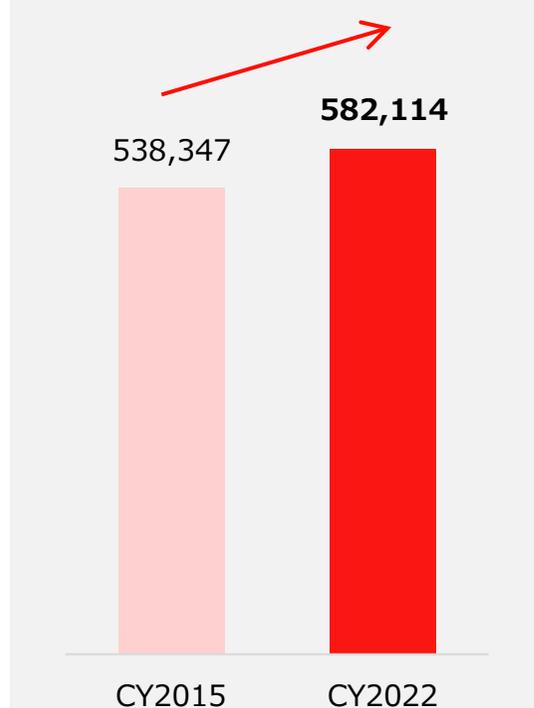
警備員数も増加を続けており、人手不足が騒がれているにもかかわらず、需要の高さがうかがえる

警備員数100人未満の警備業者が全体の90%以上を占めている

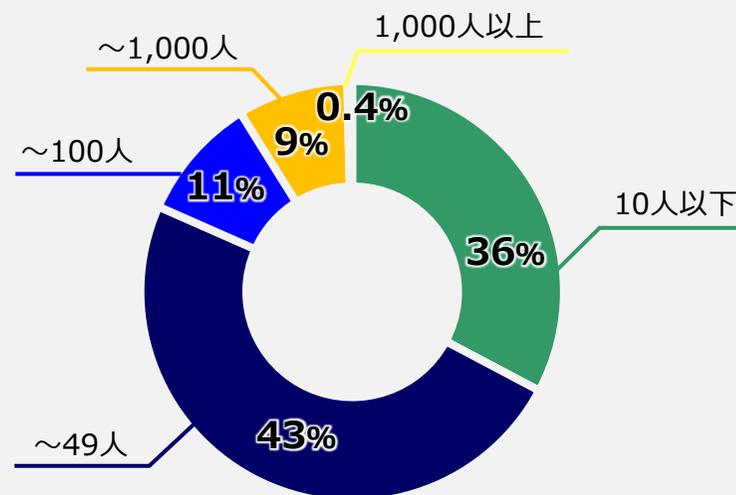
警備業者数



警備員数



警備業者の警備員数別



出典：警察庁「警備業の概況」より当社作成

警備業界の成長率

2015年-2022年の過去8年で業界全体の成長率は5%ほど

しかし、売上高上位100社の成長率は4倍となる20%であり、大手・準大手の警備会社ほど成長率は高い

警備業成長率 2015年-2022年

(億円)



出典：警察庁「警備業の概況」、警備保障タイムズ「警備業売上高ランキング」より当社作成

警備業界の成長における課題

警備業界は、人手不足や高齢化が顕著な業界の一つである

仕事を探す人1人当たりの求人数を示す有効求人倍率は、2023年9月、全業種平均1.23倍に対して保安職業従事者は7.20倍（2023年9月）と約6倍の差がある



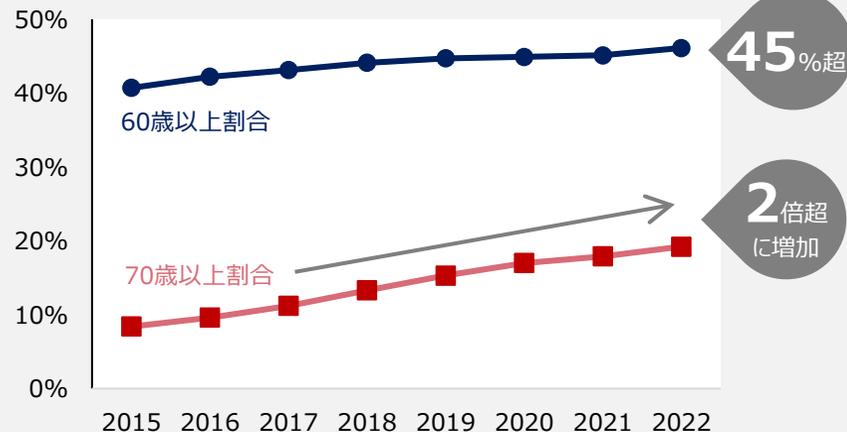
人手不足

有効求人倍率の推移



警備員の高齢化

年齢層の推移



警備業界の成長における課題

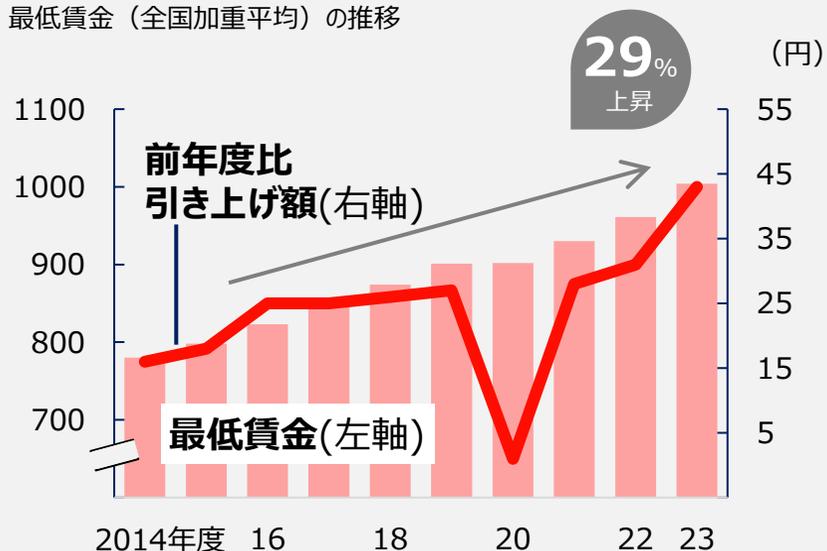


最低賃金は、ここ10年で29%上昇した

社会保険加入義務も拡大しており、値上げ交渉に難航する
中小警備企業は、年々苦しい経営を強いられている

最低賃金の上昇

最低賃金（全国加重平均）の推移



社会保険の加入

社会保険加入義務の適用事業所の拡大



私たちがM&Aで実現したいこと



警備料金が上がらない

上場企業の信用力、営業力で高収益案件の獲得を実現

資本業務提携先のセコム様など取引先の拡大により、受注数の増加を実現

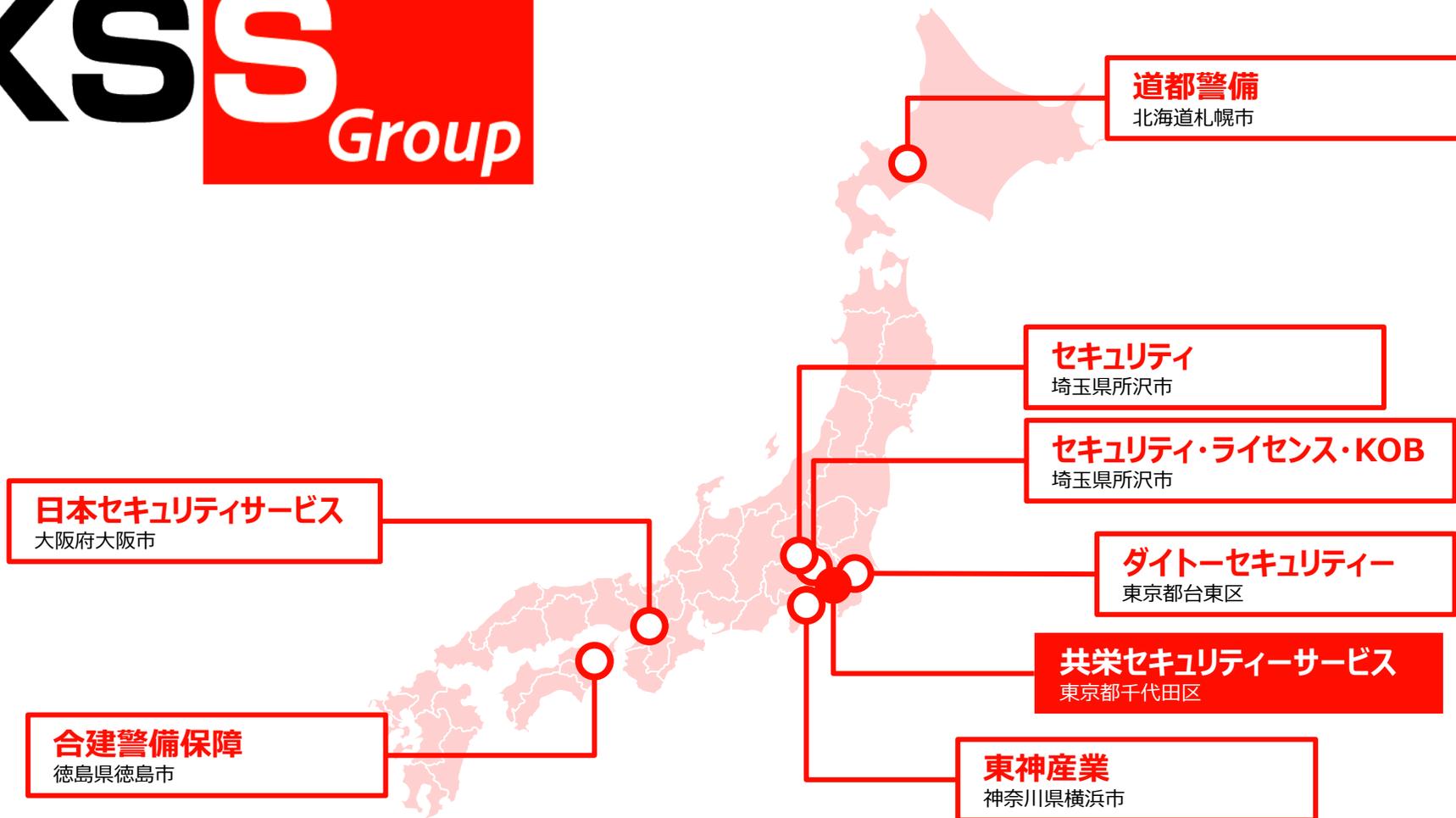
社員の育成ノウハウの共有による品質向上

募集しても人が集まらない

上場企業の資金力やブランド力を活かした求人募集により多くの人材の採用が可能

規模の強さとスケールメリットで利益を生み出し、従業員に還元することで人材を確保し、規模を拡大していく

売上高800億円、2万人体制の実現



警備業界のM&A事例（2000年以降）

シェア及びエリア拡大戦略のパートナー企業として地元優良企業とM&Aをする流れが加速
IT、人材派遣、ビルメンテナンス、運送業等、警備以外の事業との資本提携も活発化

実行日	内容
2020年5月14日	セコムと共栄セキュリティーサービス、資本業務提携
2020年12月25日	エルテスセキュリティーインテリジェンス(現AIK、東京都)、アサヒ安全業務社(現And Security、横浜市)を子会社化
2021年6月30日	セントラル警備保障、ワールド警備保障(現CSP東北、仙台市)の株式を追加取得(31%→67%)、子会社化
2021年10月8日	アウトソーシング、アーク警備システム(東京)、アークミライズ(東京都)を子会社化
2022年3月16日	AIK、ISA(札幌市)、SSS(札幌市)を子会社化
2022年4月4日	共栄セキュリティーサービス、日本セキュリティーサービス(大阪府)を子会社化
2022年4月28日	東洋テック、五大テック(大阪府)を子会社化
2022年7月1日	セコム、セノン(東京都)の株式を取得(出資比率55.1%)、子会社化
2022年8月17日	共栄セキュリティーサービス、ダイトーセキュリティー(東京都)を子会社化
2023年1月24日	トスネット、トップロード(新潟市)を子会社化
2023年2月10日	センコーグループホールディングス、日制警備保障を子会社化
2023年2月17日	共栄セキュリティーサービス、合建警備保障(徳島県)を子会社化
2023年4月25日	セントラル警備保障、東亜警備保障を子会社化
2023年7月23日	日制警備保障、アムス警備(東京都)、ヒューマンセキュリティ(東京都)を子会社化
2023年10月2日	共栄セキュリティーサービス、東神産業(神奈川県)を子会社化
2023年10月26日	共栄セキュリティーサービス、セキュリティ(埼玉県)及びセキュリティ・ライセンス・KOB(埼玉県)を子会社化

1. 2024年3月期 2Q 業績ハイライト
2. 2024年3月期 2Q 連結業績
3. 成長戦略
- 4. Appendix**

会社概要

会社概要

商号	共栄セキュリティサービス株式会社 Kyoei Security Service Co., Ltd.
設立	1985年(昭和60年)5月15日
本社所在地	〒102-0074 東京都千代田区九段南1丁目6番17号 千代田会館
電話番号	03-3511-7780 (代表)
代表者	代表取締役社長 我妻 文男 (あづま ふみお)
資本金	1億円 (2022年8月1日現在)
事業内容	施設警備業務、交通誘導警備業務を中心とした警備業 マンション代行管理、駐車場運営管理などの隣接業種
連結従業員数	2,855名 (2023年10月26日現在)
グループ会社	株式会社道都警備 (北海道札幌市) 日本セキュリティサービス株式会社 (大阪府大阪市) 株式会社タイトーセキュリティ (東京都台東区) 合建警備保障株式会社 (徳島県徳島市) 東神産業株式会社 (神奈川県横浜市) 株式会社セキュリティ (埼玉県所沢市) 有限会社セキュリティ・ライセンス・KOB (埼玉県所沢市)
主要取引先	防衛省、ユニー(株)、(株)アサヒファシリティズ、イオンデイライト(株)、アマゾンジャパン(同)、(株)トータルシティビル管理、 (一社)日本自動車連盟、大成有楽不動産(株)、三井不動産レジデンシャルサービス(株)、福島空港、アマノマネジメントサービス(株)、(株)NSFエンゲージメント、JLLリテールマネジメント(株)、伊藤忠アーバンコミュニティ(株)、セコムグループ、 セントラル警備保障(株)、ほか多数

株式情報

発行済み株式総数	1,506,500株
株主数	874名 (2023年9月30日現在)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場 (7058) 2019年3月18日新規上場

事業内容



施設警備



レセプション・コンシェルジュ



駐車場警備



空港消防業務



イベント警備



交通誘導警備



ハイウェイ・セキュリティー



ボディーガード



駐車場運営管理



マンション代行管理



建物設備管理

- 警備事業の単一セグメントです

将来に関する記述等についてのご注意

- 本資料は、当社の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料には、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報をもとに、本資料は作成時点における当社の判断に基づいて記載したものであり、また、一定の前提の下になされています。そのため、これらの記述または前提の、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の結果はこれと大幅に異なる可能性があります。したがって、これらは将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。
- なお、本資料における記述は本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。
- また、本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報は、公開情報または第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報は正確性・適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

KSS **S** *Group*